

# 会派名：『品川改革連合』 令和4年度の政務活動概要報告書

会派名 品川改革連合  
代表者名 須貝行宏

政務に係る調査活動の概要について下記の通り報告します。 令和 5年 5月 25日

- ① 令和4年度の政務活動概要報告は、「須貝行宏」、「藤原正則」は1年分を、「くにば雄大」は在籍した4月～12月までの9か月分を報告します。

『品川改革連合』は、大半の区民生活や区内産業の経営が厳しい状況にあるならば、区民から選ばれている議員は自ら身を切るべきと考え、議員定数と議員経費の削減を訴えると共に、区民生活や区内産業を支援するために活動しています。

- ② 政務活動費の概要報告の期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの12ヶ月分です。

- ③ 政務活動費の収支報告

議員一人につき月額19万円で、会派の所属議員数を乗じた額を品川区（税金）から交付されます。

- 会派に交付された政務活動費の総金額は627万円です。

(19万円×2名×12か月 + 19万円×1名×9か月)

- 使用した政務活動費は、385万8683円です。

- 返納した政務活動費は、241万1317円です。

会派が使用しなかった金額は、品川区に返納（返金）しました。

- ④ 主な政務活動は、下記の項目について調査研究しました。

令和5年3月に入りコロナ感染は減少し、観光・飲食・サービス業にも明るさが出てきたが、長いコロナの影響に加え、ウクライナ侵略戦争や異常な円安などにより収入が増えない中で光熱費や物価が高騰し、多くの国民は賃上げも出来ない中で、家計は悪化し中小企業経営は融資返済が重荷になり廃業や倒産が増えています。また、介護・保育・幼稚園・看護従事者の低賃金の改善と、家族が子どもや被介護を予約なしでいつでも安心して預けられる施設の開設と支援を行うと共に、高額所得者には社会保障費の負担増をお願いし行き詰まる社会福祉を支えるべきです。さらに羽田新飛行ルートの変更を国に働きかけるべきです。そして人類にエネルギーと食糧危機をもたらした上に残虐非道なロシアに対し、世界は国を守るウクライナを見捨てずに世界平和をぶち壊すプーチン政権を倒すべきです。

- 医療、保健 日本も世界と同様にコロナ感染は減少し経済活動にも活気が出てきたが、今後は過度なコロナ予防はやめ、マスク無しの長時間の密接を避けたり、密閉空間の換気と小面積の仕切り板設置などにとどめることについて 増え続ける社会保障費の負担増について
- 学校、教育 学歴社会を生き抜くために、小中学生の低学力層の把握と底上げと学校教育について 公立小中学校の教員の人事権と給与を東京都から品川区に移譲することについて
- 高齢者・子育て・障害者 保育士・介護士・看護師、幼稚園先生の低賃金と労働環境の改善について 子どもや被介護を予約なしでいつでも安心して預けられる施設の開設と支援について
- 中小零細企業 中小企業経営は、物価や光熱費の高騰と融資返済が重荷になり廃業や倒産が増えている現状に対する支援について、
- 行財政改革 収入が増えない非正規労働者、年金暮らしの高齢者、中小企業従事者や若年者層の中の低所得者層は、物価高騰により家計は悪化し中小企業は経営悪化している現状から鑑み 区議会議員は給与・諸経費・役職手当・議員定数などの削減に努め身を切るべきについて
- 環境対策 危険な羽田の低空飛行ルート（落下物、墜落事故、騒音）について
- 震災対策と 全国で地震が多発しています。倒壊や崩壊の危険性が高いビルやマンションの耐震診断の  
中高層建築物 実施と地震保険の加入促進について 中高層マンションの廃墟化問題について

上記などのために書籍などの資料を購入し調査研究活動を致しました。

また、議会活動および区政について、区民からご意見を聞くとともに、その広報活動をしました。